

香取市の
水道加入率の現状は

Q 市民にとって必要なのは飲料水です。合併以前から地下水汚染がある地域があり、水質検査の結果によって水道事業の要望が大きくなりました。水道の加入状況は。

A 事業認可区域の住民基本台帳世帯数に対する給水世帯数の割合は、平成19年3月末、佐原地区68・47%、小見川・山田地区89・77%、栗原地区70・65%でした。水道統計調査では、事業認可区域内人口に対する給水人口の水道普及率は全体で平成19年3月末83・7%が令和6年3月末82・7%でした。

Q 加入促進の指導状況は。

A 新規水道管布設工事の際に、隣接住民へ文書の郵送や個別訪問で加入を進めています。

Q 自家用飲料水（井戸水）の検査の進め方は。

A 対象の自治会で希望者の取りまとめ後、サンプルを抽出し、検査機関に分析を

さとう よしふみ
佐藤 好文 議員

依頼しています。検査結果が不適合の場合には飲用指導のほか、浄水器の設置や補助制度の説明をしています。

Q 水道施設統廃合事業を進める要因は。

A 各給水場の施設の統廃合や老朽化した小見川浄水場の全面改修を行い、水道水の供給の安定性、施設の効率性を向上させるとともに、耐震化を図り、災害に強い水道を構築することを目的に進めています。

学校給食の完全無償化実施時期は

Q 県内ではすでに15市町村が無償化を実施しています。学校給食法では、給食は教育の一環と位置づけ、給食費も教科書

同様に公費負担とすべき無償化は国が実施すべき施策です。8月には市内の2団体が小学校全学年の無償化の実施を求めています。無償化を国の制度とするようにと国へ要請

不登校の児童・生徒に
学びの確保を

Q 公立小中学校の不登校児童生徒数が令和元年度から増加傾向にあることをどのように捉えているか。

A 近年、不登校を原因とした長期欠席児童生徒数は、増加傾向です。全国的に2016年度から増加が顕著になり、特に2020年度から増加率が一層高くなっています。香取市は全国平均から比べると不登校を原因とした長期欠席者の発生率が半分以上の割合ですが、実際に増加していることに対し重要な課題であると認識しています。

Q 不登校の児童生徒の支援を行う香取市教育支援センター「ふれあいステーション」が小見川地区に設置されているが佐原地区にも設置できないか。

A 佐原地区の児童生徒の中にも利用希望者が一定数見られるため、開設に向けては今後も取り組むべき課題と考えています。

空き地に繁茂した雑草等の対策を

Q 空き地に繁茂した雑草等の対策として地権者に指導、勧告、命令、そして行政代執行ができる「空き地に繁茂した雑草等の除去に関する条例」の制定が必要だと考えるが、見解は。

A 「空き地に繁茂した雑草等の除去に関する条例」の制定については、国の動向や他自治体の状況等を踏まえ、引き続き調査研究していきたいと考えています。

婚活支援事業の復活を

Q 未婚化・晩婚化の対策として、香取市が運営する婚活支援事業を再開できないか。

A 令和元年度まで香取市が実施していた婚活事業「かとり縁結び大作戦」は、平

するよう多くの署名が市長に提出されています。無償化が実施された対象児童数は全体の何割か。

A 無償化の現状は、令和6年8月現在、小学生391人、中学生1213人、第3子以降が417人と全体で、2021人となり、約50・6%となります。

Q 対象外児童数の無償化の時期は。

A 無償化に要する費用は年間約2億4439万円余りになります。国、県の動向を見ながら財源の確保に努め、完全無償化を目指します。

Q 地元産食材の利用は。物価高騰への対応は。

A 食育を推進する国、県の取り組みのもと可能な限り地元産を利用しています。令和6年度当初予算では、物価高騰対策で、給食材料費を15%増額して計上し、保護者負担を増やすことなく対応をしています。

Q 完全無償化が実施できなかった要因は。

A 主に無償化の対象拡充に伴う負担増等や対応する予算の多くを国の臨時交付金等を財源としているためです。

成30年度の市民事業仕分けの結果を受け事業を廃止しました。これは市民の意見を反映したもので、事業を再開するためには、十分な議論や検討が必要と考えます。香取市の事業ではありませんが、現在、「一山まちづくり協議会」と「小見川中央地区まちづくり協議会」が連携し、結婚相談事業を実施しています。また、令和6年度は、移住定住を担当する香取市地域おこし協力隊が中心となり、香取市と連携して婚活ツアーを実施予定で、さらに千葉県ではメタバースを活用した婚活事業を令和6年9月に実施予定です。こうした活動や「地域少子化対策重点推進交付金」を活用した他自治体の状況を調査し、香取市としての婚活支援の方向性を研究していきます。

たしろ かずお
田代 一男 議員